

令和3年度 森林環境譲与税に関する決算状況

【新ひだか町】

(単位：千円)

NO	事業区分	事業名	事業総額			事業内容	事業実績
			(A)～(C)	うち森林環境譲与税	うち基金取崩額		
1	⑦ その他（森林整備）	森林周辺の環境保全事業（沢等修繕）	992	992		森林内や森林周辺の荒廃した沢等について、地域住民や公共施設の利用者が土砂流出等による災害発生の恐れなどの不安解消のため、林地内の沢・水路等の土砂除去等を実施し、被害防止と地域の安心安全を図った。	修繕箇所 1カ所 側溝等埋設土除去 1カ所約50m 木製土留 1カ所 排水管設置 1カ所
2	⑬ 木造公共建築物の整備等	森林の憩いの場創出事業（森林公園温泉の森キャンプ場整備）	5,799	5,799		林地崩壊による土砂流出等のため休止していた、住民の憩いの場である温泉施設と隣接する森林公園キャンプ場について、治山機能の向上と併せる形で、キャンプ場と森林公園を一体とした整備を実施し、自然環境と調和した森林の憩いの場の創設を図った。 バンガロー修繕等	修繕箇所 キャンプサイト土砂撤去 7ヶ所階段修繕6カ所
3	⑦ その他（森林整備）	森林の憩いの場創出事業（桜並木等植栽地整備）	2,643	2,643		病気等により枯損した桜の木について、新たな苗木を植樹するため、病気の再発防止を目的に、伐採した枯損木の除根を実施し、桜並木の樹勢回復を行い、森林環境の保全や触れ合う機会、レクリエーションの場を提供し、森林観光資源と森づくりの推進を図った。	伐根除去 27本 土砂撤去 土壌改良
4	⑦ その他（森林整備）	森林作業員雇用創出事業（町有敷地不用木等整備）	4,759	4,758		民有地に隣接する町有敷地等にある危険木等を整理することにより、安心安全な住民の生活環境と森林環境の保全を推進するとともに、林業労働者の雇用確保を図った。	164人工
5	⑧ 担い手確保	森林作業員雇用創出事業（つる切等）	2,948	2,948		町有林内等のつる切等を実施することにより、町民の財産である町の森林の環境整備及び優良な木材の育成を促進するとともに林業労働者の雇用確保を図った。	
6	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	森林の憩いの場創出事業（桜並木樹勢回復）	6,000	3,000	3,000	町の観光資源である桜並木の樹勢を回復させるため、桜の植栽・害虫駆除・枯損箇所の修復等をし、森林環境整備を行い、町民がより森林に親しめる憩いの場の創出を図った。	・桜植栽 25本 ・苗畑造成・苗木購入及び採取 ・害虫防除 ・腐食箇所の治療ほか
7	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	木育推進事業（木製玩具制作）	2,064	2,064		町内の乳幼児の発育促進事業として、地元材を活用し、ファースト玩具として木製品をプレゼントし、木材と触れ合う機会の創出や木育の推進を図った。	木の輪80個 6か月検診時 積み木130組 12か月検診時
8	⑦ その他（森林整備）	森林・森林周辺管理事業（森林管理車の更新）	2,339	2,339		老朽化している森林管理用の公用車を購入し、より安全に森林の適切な管理を推進することができた。	SUV車 1台
9	⑧ 担い手確保	林業・林産業担い手対策事業（北海道林業・木材産業産業人材育成支援協議会負担金）	100	100		北海道林業・木材産業人材育成支援協議会に参画し、北海道北の森づくり専門学院への支援と連携した取組みによる、将来の林業・木材産業等の振興に繋がる担い手確保の推進を図った。	
10	③ 私有林整備	森林環境保全事業（私有林環境整備推進事業補助金）	1,927	1,927		森林の多面的機能の発揮や災害防止等のため、私有林全体の計画的な事業が不可欠であることから、下刈・除間伐等の事業に対する上乗補助を実施し、造林事業の推進を図った。 (下刈4,000円/ha・野鼠400円/ha・除間伐9,000円/ha)	
11	③ 私有林整備	森林環境保全事業（私有林作業道開設）	1,600	1,600		森林造成、間伐材等の搬出及び作業の効率化を推進するとともに、作業員の労働環境の改善を図った。 (単価1,000円/m)	
12	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	木育推進事業（緑化推進委員会負担金）	30	30		町内での植樹等を通じ、普及啓発木育活動の推進を図った。	
13	⑧ 担い手確保	林業・林産業担い手対策事業（新ひだか町林業担い手対策協議会負担金）	400	400		新ひだか町林業担い手対策協議会を立上げ、新規就業者の確保、既就労者の育成等の推進を図った。	
14		令和4年度へ繰越額	487	487			
	合計		32,088	29,087	3,001		